



Oracle® Business Intelligence Applications システム要件およびサポート されるプラットフォーム

リリース 7.9.4
2008 年 4 月

Oracle Business Intelligence Applications システム要件およびサポートされるプラットフォーム, リリース 7.9.4

部品番号: E06113-01

原本名: System Requirements and Supported Platforms for Oracle Business Intelligence Applications, Version 7.9.4

原本部品番号: E10920-01

Copyright © 2007, Oracle. All rights reserved.

制限付権利の説明

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとし、著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。

独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS.

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかる目的で使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Siebel は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性があり、あります。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

目次

第 1 章： 概要

Oracle Business Intelligence Applications のドキュメント 6

テクニカル・サポートへの問合せ 6

第 2 章： Oracle Business Intelligence Applications のプラットフォーム要件

Oracle Business Intelligence Enterprise Edition のインフラストラクチャ要件 10

ハードウェア要件 10

クライアントおよびサーバー環境の要件 12

サポートされているデータ・ソース 14

Oracle Business Analytics Warehouse でサポートされているデータベース 15

サポートされているソース・システム 17

グローバリゼーション要件 20

第 3 章： サポートされているソフトウェアおよび付属プログラム

Oracle Business Intelligence Applications でサポートされているソフトウェア 23

Oracle Business Intelligence Applications の付属プログラム 24

ライセンス契約 25

The Apache Software License, Version 2.0 25

第 4 章： アップグレードにおける考慮事項

第 5 章： 計画されている動作確認

Oracle Business Intelligence Applications のソース・システムに対して計画されている動作確認 29

動作確認が計画されている Informatica 製品 29

Oracle Business Analytics Warehouse のデータベースに対して計画されている動作確認 29

1

概要

このマニュアルには、Oracle Business Intelligence Applications リリース 7.9.4 のシステム要件およびサポートされるプラットフォームの最終的なリストが掲載されています。

この章の内容は次のとおりです。

- [Oracle Business Intelligence Applications のドキュメント](#)
- [テクニカル・サポートへの問合せ](#)

Oracle Business Intelligence Applications のドキュメント

Oracle Business Intelligence Applications のドキュメントは、Oracle Technology Network (OTN) および Siebel SupportWeb から入手できます。

Oracle Technology Network で Oracle Business Intelligence Applications のドキュメントにアクセスするには

次の Oracle Business Intelligence Applications のドキュメント・ライブラリに移動します。

http://www.oracle.com/technology/documentation/bi_apps.html

Siebel SupportWeb で Oracle Business Intelligence Applications のドキュメントにアクセスするには

- 1 <http://supportweb.siebel.com> に移動し、サポート・サービスから付与されているログイン名とパスワードを使用してログインします。ログイン名とパスワードがわからない場合は、グローバル・カスタマ・サポート (<mailto:siebelsupport@oracle.com>) にお問い合わせください。
- 2 「Self Service」で「Browse/Search Knowledge Base」をクリックします。
- 3 左側のペインで「Product Documentation」をクリックします。

テクニカル・サポートへの問合せ

実装した Oracle Business Intelligence Applications 製品を最大限に活用し、それに伴う投資から最大限の収益率を得るには、トレーニングを受けた専任の社内サポート担当者をテクニカル・サポートへの問合せ窓口として配置することをお勧めします。製品の基本的な知識を習得するためのトレーニングから、特定のロールまたは実装フェーズに必要な知識の習得や、特別な使用方法および移行方法の学習に役立つ補足的なトレーニングまで、必要に応じて技術的なトレーニングを受講していただけます。トレーニングを受講することで、実装チームの知識レベルが適切に維持され、問題の解決がスムーズになります。また必要な技術情報がグローバル・カスタマ・サポート・チームに提供されることで、効率的な共同作業によって問題をすばやく解決できるようになります。

一般的な体制としては、Oracle Business Intelligence の実装について各部門のユーザーを直接支援するファーストライン・サポートの体制およびプロセスを組織内に確立し、維持することをお勧めします。グローバル・カスタマ・サポートは、管理者権限を持ち、問題の分析に必要な情報（リポジトリ・ファイル、ログ・ファイル、データベース抽出ファイルなど）を提供できる、トレーニングを受けた専任の社内サポート担当者にセカンダライン・サポートを提供します。

Oracle Business Intelligence Applications 製品に関する知識を最大限に活用し、最大限の投資収益率を得る方法は次のとおりです。

- 専任の社内サポート担当者を配置し、その担当者がオラクル社のトレーニングを受けます。
- オラクル社のトレーニングを受けたサポート担当者が、各部門のユーザーを直接サポートします。グローバル・カスタマ・サポートは、専任のサポート担当者に対してのみ直接サポートを提供します。

効率的でタイムリーなサポートを受け、グローバル・カスタマ・サポートのナレッジ・ベースにアクセスする方法は次のとおりです。

- グローバル・カスタマ・サポートは原則として Web ベースのサポートを提供しており、Siebel SupportWeb (<http://ebusiness.siebel.com/supportweb>) からアクセスできます。ここでは、問題の解決に役立つ豊富なナレッジ・ベースを検索できます。ここで問題が解決されない場合は、専任のサポート担当者を介してグローバル・カスタマ・サポート・チームにサービス・リクエストを提出してください。
- 専任のサポート担当者には、Siebel SupportWeb に対する読取りおよび書込み権限が付与されます。ユーザー企業内の他のプロジェクト・チーム・メンバーには、ナレッジ・ベースを利用できるように読取り専用アカウントが付与されます。

SupportWeb のアカウントをお持ちでない場合、または質問がある場合は、<mailto:siebelsupport@oracle.com> にお問い合わせいただくか、次の担当地域のサポート・センターにお電話ください。

北アメリカ：	+1 800 214 0400 または +1 650 341 0700
ブラジル（サンパウロ）：	+55 11 5189 3330
英国（ロンドン）：	+44 118 92 45678
ドイツ（ミュンヘン）：	+49 891 430 1710
フランス（パリ）：	+44 118 92 45678
アイルランド（ゴールウェー）：	+44 118 92 45678
日本（東京）：	0120 606 750（日本国内専用フリーダイヤル） +81 3 5251 8884（国際電話）
シンガポール：	+65 6436 1866

担当地域のサポート・センターの営業時間外に、本番環境で緊急を要する重要度 1 の問題が発生した場合は、次の番号にお電話ください。

+1 800 214 0400 または +1 650 341-0700

2

Oracle Business Intelligence Applications のプラットフォーム要件

この章では、Oracle Business Intelligence Applications が正しく稼動する、サポートされているすべての動作環境について説明します。ハードウェアとソフトウェアの要件に加えて、グローバリゼーション要件および次の内容についても説明します。

- Oracle Business Intelligence Enterprise Edition のインフラストラクチャ要件
- ハードウェア要件
- クライアントおよびサーバー環境の要件
- サポートされているデータ・ソース
- サポートされているソース・システム

Oracle Business Intelligence Enterprise Edition のインフラストラクチャ要件

Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 をインストールする前に、Oracle Business Intelligence Enterprise Edition インフラストラクチャをインストールする必要があります。Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 は、Oracle Business Intelligence Enterprise Edition リリース 10.1.3.3.1 以上でサポートされています。注意：クロアチア語環境で Oracle BI Applications 7.9.4 を実行するために必要な Oracle Business Intelligence Enterprise Edition の最小リリースは 10.1.3.3.2 です。

ハードウェア要件

この項では、Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 のハードウェアおよびネットワーク要件について説明します。オラクル社では、この項に示す環境において、許容可能なパフォーマンスが得られることを動作確認していますが、特に複数アプリケーションが同時に実行されるような環境では、さらに高速なプロセッサを使用したりメモリーを増設することでパフォーマンスが向上します。

表 1 は、Oracle Business Intelligence Applications の最小要件を示しています。

表 1. Oracle Business Intelligence Applications の最小要件

説明	要件
Oracle Business Analytics Warehouse	CPU: 2GHz 以上、最低 4 つのプロセッサ RAM: 4GB
Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理 コンソール (DAC) クライアント	CPU: 1GHz 以上 RAM: 500MB
Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理 コンソール (DAC) サーバー	CPU: 1GHz 以上 RAM: 1GB
ETL (Informatica PowerCenter) クライアント	CPU: 1GHz 以上 RAM: 1GB

表 1. Oracle Business Intelligence Applications の最小要件

説明	要件
ETL (Informatica PowerCenter) リポジトリ・サーバー	CPU: 1GHz 以上 RAM: 1GB
ETL (Informatica PowerCenter) サーバー	CPU: 2GHz 以上、最低 2 つのプロセッサ RAM: 4GB

クライアントおよびサーバー環境の要件

この項では、Oracle Business Intelligence Applications リリース 7.9.4 でサポートされているクライアントおよびサーバーのオペレーティング・システムについて説明します。

サポートされているクライアントおよびサーバーのオペレーティング・システム

表 2 は、Oracle Business Intelligence Applications でサポートされているクライアントおよびサーバーのオペレーティング・システムを示しています。

表 2. Oracle Business Intelligence Applications リリース 7.9.4 でサポートされているクライアントおよびサーバーのオペレーティング・システム

クライアント・タイプ	オペレーティング・システム
Informatica PowerCenter 7.1.4 Server ¹	HP-UX 11.11 (32 ビット版)。プロセッサ：PA-RISC
	HP-UX 11.23 (64 ビット版)。プロセッサ：Itanium ²
	IBM AIX 5L バージョン 5.2 (32 ビット版および 64 ビット版)、5.3 (32 ビット版および 64 ビット版)。プロセッサ：PowerPC
	Microsoft Windows 2000 Server (32 ビット版)、2003 Server (32 ビット版)。プロセッサ：X86
	最小カーネル 2.6 を搭載した Novell SUSE Linux Enterprise Server 9 (32 ビット版)。プロセッサ：x86
	最小カーネル 2.6 を搭載した Novell SUSE Linux Enterprise Server 9 (64 ビット版) ³ 。
	最小カーネル 2.6 を搭載した Oracle Enterprise Linux 4 Update 4 (32 ビット版)。プロセッサ：x86
	最小カーネル 2.6 を搭載した Red Hat Enterprise Linux 4 (32 ビット版)。プロセッサ：x86
	最小カーネル 2.6 を搭載した Red Hat Enterprise Linux 4 (64 ビット版) ⁴ 。
	Sun Solaris 8 (32 ビット版)、9 (32 ビット版および 64 ビット版)、10 (32 ビット版および 64 ビット版)。プロセッサ：SPARC

表 2. Oracle Business Intelligence Applications リリース 7.9.4 でサポートされているクライアントおよび
サーバーのオペレーティング・システム

クライアント・タイプ	オペレーティング・システム
Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール (DAC) サーバー	<p>HP-UX 11.11 (32 ビット版)。プロセッサ: PA-RISC</p> <p>HP-UX 11.23 (64 ビット版)。プロセッサ: Itanium²</p> <p>IBM AIX 5L バージョン 5.2 (32 ビット版および 64 ビット版)、5.3 (32 ビット版および 64 ビット版)。プロセッサ: PowerPC</p> <p>Microsoft Windows 2000 Server (32 ビット版)、2003 Server (32 ビット版)。プロセッサ: X86</p> <p>最小カーネル 2.6 を搭載した Novell SUSE Linux Enterprise Server 9 (32 ビット版)。プロセッサ: x86</p> <p>最小カーネル 2.6 を搭載した Novell SUSE Linux Enterprise Server 9 (64 ビット版)³。</p> <p>最小カーネル 2.6 を搭載した Oracle Enterprise Linux 4 Update 4 (32 ビット版)。プロセッサ: x86</p> <p>最小カーネル 2.6 を搭載した Red Hat Enterprise Linux 4 (32 ビット版)。プロセッサ: x86</p> <p>最小カーネル 2.6 を搭載した Red Hat Enterprise Linux 4 (64 ビット版)⁴。</p> <p>Sun Solaris 8 (32 ビット版)、9 (32 ビット版および 64 ビット版)、10 (32 ビット版および 64 ビット版)。プロセッサ: SPARC</p>
Informatica PowerCenter 7.1.4 Client	<p>Microsoft Windows 2000 Server、Microsoft Windows 2003 Server</p> <p>Microsoft Windows XP</p>
Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール (DAC) クライアント	<p>Microsoft Windows 2000 Server、Microsoft Windows 2003 Server</p> <p>Microsoft Windows XP</p>

1. Informatica Server での Teradata のサポートは、次のオペレーティング・システムに制限されています。Windows 2000 および Windows 2003、IBM AIX 5.3 (32 ビット版および 64 ビット版)、HP-UX 11i (32 ビット版および 64 ビット版)、および Sun Solaris 8 (32 ビット版)、Sun Solaris 9 (32 ビット版および 64 ビット版)、および Sun Solaris 10 (32 ビット版および 64 ビット版)。
2. HP-UX 11.11 Itanium 64 ビット・システムには、パッチ PHSS_33033 以上が必要です。HP-UX 11.23 Itanium 64 ビット・システムには、パッチ PHSS_33349 以上が必要です。
3. SUSE Linux (64 ビット版) は、次のプロセッサ / プラットフォームおよびターゲット・データベースの組合せに対してのみサポートされています。IBM zSeries 上の SUSE Linux と IBM DB2 バージョン 8.2 または Oracle 10g のいずれかのターゲット・データベース。
4. Red Hat Linux (64 ビット版) は、次のプロセッサ / プラットフォームおよびターゲット・データベースの組合せに対してのみサポートされています。IBM zSeries 上の Red Hat Linux と IBM DB2 バージョン 8.2 または Oracle 10g のいずれかのターゲット・データベース、および Itanium プロセッサと IBM DB2 バージョン 8.1、バージョン 8.2、Oracle 9i、または Oracle 10g のいずれかのターゲット・データベース。

注意： Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール（クライアントおよびサーバー）には、SDK for Java 2 Platform、Standard Edition、バージョン 1.5.x をインストールする必要があります。また DAC には、サポートされているデータベース用の JDBC ドライバも必要です。JDBC ドライバは、ベンダーの提供するデータベースのバージョンによって異なるため、データベースに付属しているドライバや、目的のバージョンに対して動作確認が行われた、DB ベンダーのサイトからダウンロードしたドライバのみを使用する必要があります。現在、データベースに対するサード・パーティの JDBC ドライバの使用はサポートされていません。詳細は、『Oracle Business Intelligence Applications インストレーションおよび構成ガイド』を参照してください。

サポートされているデータ・ソース

注意： 本質的に、Oracle Business Intelligence Applications は特定バージョンのデータベース・ソフトウェアにリンクします。そのため、次の表には、明示的にテストされたバージョンのデータベース・クライアントとサーバー・ソフトウェアのみを記載しています。他のサービス・パックやパッチ・レベルのテストおよび動作確認が行われた場合は、それらの情報についても今後お知らせします。

上位のパッチ・レベルを実行しているユーザーが Oracle Business Intelligence Applications ソフトウェアの使用時に問題を検出した場合、グローバル・カスタマ・サポートはその問題を通常どおりに調査します。Oracle Business Intelligence Applications ソフトウェアに欠陥が検出された場合、通常のサポート・プロセスに従って、その欠陥が修正される可能性と時期を判断します。そのような場合、検出された欠陥は、Oracle Business Intelligence Applications ソフトウェアではなく、上位のバージョンのデータベース・ソフトウェアに存在するとみなされます。オラクル社では、その欠陥を回避するパッチを作成することはできますが、そのパッチは保証されず、実際には技術的に不可能な場合もあります。その場合、ユーザーはデータベース・ベンダーに問い合わせ、そのデータベース・ソフトウェアの問題を修正するパッチを入手するか、データベース・ソフトウェアのバージョンを下げて、Oracle Business Intelligence Applications ソフトウェアとともに実行しても問題が発生しないようにする必要があります。

データベースのアップグレード後にユーザーが実施する回帰テストおよび受入れテストでは、本番環境で使用する予定のすべての機能を全面的にテストし、データベース・ソフトウェアのアップグレードにより重大な問題が発生しないことを確認する必要があります。

Oracle Business Analytics Warehouse でサポートされているデータベース

表 3 は、Oracle Business Analytics Warehouse と、関連する Informatica および DAC コンポーネント・リポジトリについて動作確認が行われているデータベースを示しています。

表 3. Oracle Business Analytics Warehouse でサポートされているデータベース

ベンダーおよび製品	バージョン	接続ソフトウェア	コード・ページ	ソート順序
Microsoft SQL Server 2000	2000 Service Pack 2 以上、32 ビット版	SQL Server ODBC Driver/ Microsoft Data Access Component (MDAC) 2.7 以上	UCS-2、従来型	バイナリ順または辞書順（大文字と小文字を区別）
Microsoft SQL Server 2000 Enterprise Edition (64 ビット版)	2000	SQL Server ODBC Driver/ Microsoft Data Access Component (MDAC) 2.7 以上	UCS-2、従来型	バイナリ順または辞書順（大文字と小文字を区別）
Microsoft SQL Server 2005	2005、パッチ・レベル 9.00.1399.06	SQL Server Native Client 9.00.1399.06/ SQL Server ODBC Driver バージョン 3.70.08.20 Microsoft Data Access Component (MDAC) 2.8	UCS-2、従来型	バイナリ順または辞書順（大文字と小文字を区別）
IBM DB2 Universal Database (UDB) Enterprise Server Edition for Windows、UNIX	8.1 (FixPak 5 以上)	IBM DB2 Runtime Client 8.1 (FixPak 12)	UCS-2、従来型	ID/ システム順
IBM DB2 for UDB EE	8.2	DB2 Connect (FixPak 10 以上)	UCS-2、従来型	ID/ システム順
IBM DB2 Universal Database (UDB) for z/OS	8.2	IBM DB2 UDB Runtime Client および DB2 Connect 8.2 (FixPak 8 以上)	UCS-2、従来型	ID/ システム順

表 3. Oracle Business Analytics Warehouse でサポートされているデータベース

ベンダーおよび製品	バージョン	接続ソフトウェア	コード・ページ	ソート順序
IBM DB2 for z/OS (NFM モード)	8	IBM DB2 UDB Admin Client、 DB2 8.1 (FixPak 12)	UCS-2、従来型	ID/ システム順
NCR Teradata	V2R6.0、 V2R6.1、 V2R6.2	ODBC Driver for Teradata 3.6.0.0 (03.06.00.00) 以上 ¹	UTF-8、ASCII	大文字と小文字を 区別
Oracle Database 9i Enterprise Edition	9.2.0.7 以上	Oracle 9i リリース 2 クライアント ²	UTF-8、従来型	バイナリ順または 辞書順
Oracle Database 10g Enterprise Edition	10g リリース 2: 10.2.0.2 以上	Oracle 10g クライ アント	UTF-8、従来型	バイナリ順または 辞書順

1. 必要な Teradata 用 ODBC ドライバの正確なバージョンは、オペレーティング・システムとプロセッサ（32 ビット版または 64 ビット版）によって異なります。使用するオペレーティング・システムでサポートされている正確な 3.6.0.0x バージョンの詳細は、Teradata 社の Web サイトでドライバと接続ソフトウェアのダウンロードに関するページを参照してください。

2. Oracle 10g クライアントの使用は、Oracle 9i データベースに接続する Informatica Server ではサポートされていません。

注意：データ・ウェアハウス管理コンソールおよび Informatica のリポジトリは、Teradata または DB2 for OS/390 および z/OS ではサポートされていません。

注意：サーバーの照合順序で大文字と小文字を区別する SQL Server データベースがサポートされます。また、SQL Server データベースは、オプションに ANSI NULL を指定して作成する必要があります。

注意：Teradata はターゲット・データ・ウェアハウスでのみサポートされ、ソースとしてはサポートされません。

サポートされているソース・システム

Oracle Business Intelligence Applications には、Oracle Business Analytics Warehouse でデータ抽出およびデータ・ロードを行うための、ソース・システムに対するアダプタが用意されています。サポートされていない、カスタマイズされたソース・システムには汎用アダプタを使用できます。

表 4 は、このリリースの Oracle Business Intelligence Applications でサポートされているソース・システムを示しています。

表 4. Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 でサポートされているソース・システム

ベンダーおよび製品	バージョン	Oracle Business Intelligence Applications	関連するソース・アプリケーションまたはモジュール
Oracle Siebel CRM Applications ¹	6.3.x、 7.5.x、 7.7.x、 7.8.x、 8.0	Sales Analytics Usage Accelerator Analytics Option	Oracle Siebel Sales
		Service Analytics	Oracle Siebel Call Center Oracle Siebel Service Oracle Siebel Field Service
		Marketing Analytics Marketing Planning Analytics Option	Oracle Siebel Enterprise Marketing Oracle Siebel Marketing Resource Management
		Order Management Analytics Pricing Analytics	Oracle Siebel Customer Order Management
		Partner Analytics	Oracle Siebel Partner Relationship Management
		Pharma Sales Analytics Pharma Marketing Analytics	Oracle Siebel Life Sciences (製薬業界向け)
		Financial Institution Analytics Financial Retail Analytics Finance Marketing Analytics Finance Sales Analytics Finance Service Analytics	Oracle Siebel Financial Services
		Insurance Marketing Analytics Insurance Partner Manager Analytics Insurance Sales Analytics Insurance Service Analytics	Oracle Siebel Insurance

表 4. Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 でサポートされているソース・システム

ベンダーおよび製品	バージョン	Oracle Business Intelligence Applications	関連するソース・アプリケーションまたはモジュール
Oracle Siebel CRM Applications ¹ (続き)	6.3.x、 7.5.x、 7.7.x、 7.8.x、 8.0	Consumer Packaged Goods Sales Analytics	Oracle Siebel Consumer Goods
		Case Management Analytics Case Investigations Analytics Option Benefits Management Analytics Option	Oracle Siebel Public Sector
		Communications, Media, and Energy Marketing Analytics Communications, Media, and Energy Sales Analytics Communications, Media, and Energy Service Analytics	Oracle Siebel Communications, Media, and Energy
		Healthcare Marketing Analytics Healthcare Partner Manager Analytics Healthcare Sales Analytics Healthcare Service Analytics	Oracle Siebel Healthcare
		Automotive Marketing Analytics Automotive Partner Manager Analytics Automotive Sales Analytics Automotive Service Analytics	Oracle Siebel Automotive
		Oil, Gas, and Chemical Marketing Analytics Oil, Gas, and Chemical Sales Analytics Oil, Gas, and Chemical Service Analytics	Oracle Siebel Oil, Gas, and Chemical
		Store Management Analytics	Oracle Siebel Retail
		Order Management Analytics Order Fulfillment Analytics	Oracle Order Management Oracle Financials (Revenue および Receivables) Oracle Supply Chain (Inventory)
		Inventory Analytics	Oracle Discrete Manufacturing
Oracle Applications	11.5.8、 11.5.9、 11.5.10、 12.0		

表 4. Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 でサポートされているソース・システム

ベンダーおよび製品	バージョン	Oracle Business Intelligence Applications	関連するソース・アプリケーションまたはモジュール
Oracle Applications (続き)	11.5.8、 11.5.9、 11.5.10、 12.0	Procurement and Spend Analytics Supplier Performance Analytics	Oracle Purchasing/ Procurement Oracle iProcurement Oracle Financials (Payables)
		General Ledger & Profitability Analytics Payables Analytics Receivables Analytics	Oracle Financials (GL、 Payables、Receivables)
		Human Resources Operations & Compliance Analytics Human Resources Compensation Analytics	Oracle Human Resources Oracle Payroll
		Financial Services Profitability Analytics ²	Oracle Financial Services Applications (OFSA) Financial Data Manager 4.5.x
Oracle PeopleSoft Enterprise Applications	8.4、 8.8.1	General Ledger & Profitability Analytics Payables Analytics Receivables Analytics	Oracle Financials (GL、 Payables、Receivables)
Oracle PeopleSoft Enterprise Applications (続き)	8.8.1	Human Resources Operations & Compliance Analytics Human Resources Compensation Analytics	Oracle PeopleSoft Human Resources Oracle PeopleSoft Payroll Oracle PeopleSoft eCompensation
汎用ソース	N/A	使用可能なすべての Oracle Business Intelligence アプリケーション	N/A

1. Oracle Business Intelligence Applications では、表にリストされているバージョンの Siebel CRM Applications のサポートを可能にする Data Warehouse Business Adapter for Siebel を提供しています。以前のリリースの Analytics Bridge アプリケーションは現在使用されていません。

2. 詳細は、[Financial Services Profitability Analytics](#) を参照してください。

Financial Services Profitability Analytics

Financial Services Profitability Analytics は、Oracle Financial Services Applications (OFSA) リリース 4.5.x におけるビジネス・インテリジェンス機能を提供します。Financial Services Profitability Analytics では、Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール (DAC) や Informatica コンポーネントを必要とせず、Oracle Business Analytics Warehouse も使用しません。このアプリケーションは英語版のみ利用可能です。

Oracle Financial Services Applications Financial Data Manager 4.5.x の動作要件の詳細は、Oracle Metalink (<http://metalink.oracle.com>) の「Certify」タブにある動作要件に関するサイトを参照してください。

グローバリゼーション要件

Oracle Business Intelligence 7.9.4 では、表 5 に示す言語を使用できます。

表 5. Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 でサポートされている言語

言語	言語コード / Oracle Business Intelligence の言語コード	サポートされているデータベース・コード・ページ
アラビア語	ARA/l_ar	従来型 /Unicode
中国語 (簡体字)	CHS/l_zh	Unicode
中国語 (繁体字)	CHT/l_zh-tw	Unicode
クロアチア語	HRV/l_hr	従来型 /Unicode
チェコ語	CSY/l_cs	Unicode
デンマーク語	DAN/l_da	従来型 /Unicode
オランダ語	NLD/l_nl	従来型 /Unicode
英語	ENU/l_en	従来型 /Unicode
フィンランド語	FIN/l_fi	従来型 /Unicode
フランス語	FRA/l_fr	従来型 /Unicode
ドイツ語	DEU/l_de	従来型 /Unicode
ギリシャ語	GRE/l_el	従来型 /Unicode
ヘブライ語	HEB/l_iw	従来型 /Unicode
ハンガリー語	HUN/l_hu	従来型 /Unicode
イタリア語	ITA/l_it	従来型 /Unicode
日本語	JPN/l_ja	従来型 /Unicode
韓国語	KOR/l_ko	Unicode

表 5. Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 でサポートされている言語

言語	言語コード / Oracle Business Intelligence の言語コード	サポートされているデータベース・コード・ページ
ノルウェー語	NOR/l_no	従来型 /Unicode
ポーランド語	POL/l_pl	従来型 /Unicode
ポルトガル語（ブラジル）	PTB/l_pt-br	従来型 /Unicode
ポルトガル語（ヨーロッパ）	PTG/l_pt	従来型 /Unicode
ルーマニア語	RUM/l_ro	従来型 /Unicode
ロシア語	RUS/l_ru	従来型 /Unicode
スロバキア語	SLO/l_sk	従来型 /Unicode
スペイン語	ESN/l_es	従来型 /Unicode
スウェーデン語	SVE/l_sv	従来型 /Unicode
タイ語	THA/l_th	従来型 /Unicode
トルコ語	TUR/l_tr	従来型 /Unicode

3

サポートされているソフトウェアおよび 付属プログラム

Oracle Business Intelligence Applications でサポートされているソフトウェア

Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 は、表 6 に示すサード・パーティのソフトウェア製品をサポートします。これらの製品は、販売元のベンダーから直接入手する必要があります。

表 6. Oracle Business Intelligence Applications でサポートされているソフトウェア

ベンダーおよび製品	バージョン	関連するモジュール	機能
Adobe Acrobat Reader	6.0、7.0	Oracle Business Intelligence Applications	Portable Document Format (PDF) ドキュメントを表示します。
DataDirect Connect® for ODBC	5.0 以上	Oracle Business Intelligence Applications	これらの ODBC ドライバは、特に記載のないかぎり、データベース・ベンダーによってサポートされるすべてのプラットフォーム上のデータベース・バージョンへの接続をサポートします。
Hibernate Core Package	3.2.x	Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール (DAC)	データ永続性に関連するタスクに使用され、サポートされているすべてのデータベースに移植可能な SQL を生成します。

Oracle Business Intelligence Applications の付属プログラム

Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 は、表 7 に示す付属プログラムをサポートします。

表 7. Oracle Business Intelligence Applications の付属プログラム

ベンダーおよび製品	バージョン	関連するモジュール	機能
Informatica PowerCenter	7.1.4 (Informatica 社の Emergency Bug Fix 108240 を適用)	Oracle Business Intelligence Applications	配布。ソース・システムと Oracle Business Analytics Warehouse との間でデータを統合します。
Informatica Power Connect for PeopleSoft®	7.1.4	Data Warehouse Business Adapter for PeopleSoft	配布。PeopleSoft アプリケーションから Oracle Business Analytics Warehouse へのデータの抽出および統合をサポートします。
Informatica Power Connect for SAP®	7.1.4	Data Warehouse Business Adapter for SAP	配布。SAP R/3 アプリケーションから Oracle Business Analytics Warehouse へのデータの抽出および統合をサポートします。
Apache Software Foundation Apache Commons Codec	1.2	Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール	配布。Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソールで暗号化に使用されます。
Apache Software Foundation Apache Commons Betwixt	0.7	Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール	配布。Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソールで、Bean の読み込みと書き込み、および XML ファイル形式の XMLBeanInfo メタデータの解析に使用されます。
Apache Software Foundation Apache Commons BeansUtil	1.6.1	Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール	配布。Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソールで、Bean プロパティの動的な定義とアクセス、およびオブジェクト・タイプの変換の管理に使用されます。

表 7. Oracle Business Intelligence Applications の付属プログラム

ベンダーおよび製品	バージョン	関連するモジュール	機能
Apache Software Foundation Sun JavaMail	1.4	Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソール	配布。Oracle Business Intelligence データ・ウェアハウス管理コンソールで、ETL タスクのステータスに関する電子メール通知の送信に使用されます。
Microsoft InstallShield Developer	5.0 SP1	Oracle Business Intelligence Applications インストーラ	埋込み。

ライセンス契約

今回リリースされる Oracle Business Intelligence Suite Enterprise Edition にバンドルされる Apache 製品のライセンス契約の一部を次に示します。Oracle Business Intelligence Suite Enterprise Edition は、Apache Software Foundation (www.apache.org) により開発されたソフトウェアを含みます。Apache コンポーネントは、次の条件に準拠します。

The Apache Software License, Version 2.0

Copyright (c) 2006 The Apache Software Foundation, All Rights Reserved

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

4

アップグレードにおける考慮事項

Oracle Business Intelligence Applications をアップグレードする際は、慎重に計画を立て、十分なテストを行う必要があります。アップグレードを実装するための十分な時間を確保してください。アプリケーションのアップグレードについては、Oracle Consultancy へのサポートの依頼を検討することを強くお勧めします。

ビジネス要件によっては、トランザクション・アプリケーションをアップグレードせずに Oracle Business Intelligence Applications を最新バージョンにアップグレードする必要がある場合があります。たとえば、オラクル社の提供する Data Warehouse Business Adapter for Siebel を使用すれば、Siebel のトランザクション・アプリケーションをアップグレードせずに、Oracle Business Intelligence Applications を最新バージョンにアップグレードできます。

トランザクション・アプリケーションのアップグレードによって、新しいバージョンの Oracle Business Intelligence Applications を必要とするスキーマおよびリポジトリが変更されるため、分析アプリケーションのアップグレードが必要となることもあります。

Siebel Business Analytics Applications を Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 にアップグレードする前に、Siebel Business Analytics プラットフォームを Oracle Business Intelligence Enterprise Edition インフラストラクチャ、リリース 10.1.3.3.1 以上にアップグレードする必要があります。Oracle Business Intelligence Applications 7.9 には、新しい Oracle Business Intelligence Enterprise Edition インフラストラクチャとの前方互換性があります。つまり、Oracle Business Intelligence Applications 7.9 は、以降にリリースされる Oracle Business Intelligence Enterprise Edition インフラストラクチャでも継続してサポートされます。

Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 へのアップグレードの詳細は、『Oracle Business Intelligence Applications アップグレード・ガイド』を参照してください。

注意： Siebel Business Analytics Applications 6.x、7.x または Oracle Business Intelligence 7.9.x (7.9.0、7.9.1、7.9.2、7.9.3) を、NCR Teradata 上の Siebel Relationship Management Warehouse や Oracle Business Analytics Warehouse と併用している場合、Oracle Business Intelligence Applications 7.9.4 へアップグレードすることは現在できません。

5

計画されている動作確認

この章では、Oracle Business Intelligence Applications の今後のリリースで計画されている動作確認について説明します。

Oracle Business Intelligence Applications のソース・システムに対して計画されている動作確認

表 8. ソース・システムに対して計画されている動作確認

動作確認が計画されているソース・システム
Oracle eBusiness Suite R12.1
Oracle PeopleSoft Enterprise Applications 8.9、9.0

動作確認が計画されている Informatica 製品

表 9. 動作確認が計画されている Informatica 製品

動作確認が計画されている Informatica 製品
Informatica PowerCenter 8.x

Oracle Business Analytics Warehouse のデータベースに対して計画されている動作確認

表 10. データベースに対して計画されている動作確認

動作確認が計画されているデータベース
Oracle Database 11g

